

森林体験学習 プログラムのご提案

NPO法人 ひろしま人と樹の会



はじめに

森林は、私たちの暮らしを支える大切な存在です。木材や水を生み出すだけでなく、災害を防ぎ、心を癒す力も持っています。こうした「森のちから」を子どもたちが実際に体験し、学ぶことは、これからの未来を生きるうえで大きな財産となります。

私たちが森林学習・体験を通して伝えたいことは、自然の恵みを知り、その恵みを守る意識、そして自らの命を守る知恵です。森での学びが、子どもたちの心に残り、地域や社会に還元されていくことが、私たちの願いです。

森林体験を通して

ねらい

- 林業を通じて「森が果たす役割（資源・防災・循環）」を学ぶ
- 防災知識を実生活に結びつけ「自ら考え行動する力」を育む
- 体験と学習を組み合わせることで「学びの定着」と「主体性」を促す

期待される効果

教育効果

チームワーク・問題解決力の育成

防災効果

災害時の実践的な知識と行動力を養成。

地域貢献

森林整備の意義を理解し、地域の資源循環・防災力向上に寄与。

SDGsへの貢献

- 目標11「住み続けられるまちづくりを」
- 目標15「陸の豊かさを守ろう」

主なプログラム



林業体験・森の暮らし体験

ロープを使った伐倒体験や、ノコギリを使った丸太切り、枝払いの体験ができます。林業の学びを通じて森の役割への理解と、自分たちの生活とのつながりを見つけていきます。



木工クラフト体験

自分で切った丸太を使ったペンダント作りや、枝を使った鉛筆作りなど、間伐で出た木材で身近な生活用品を作成し、木材がどのようなものに生まれ変わっているのかを考えます。



防災学習

森の中にある枝葉を使い、火おこしをしたり、シェルターを作ります。自然資源を活用し、防災知識を実生活に結びつけ「自ら考え行動する力」を育みます。

林業体験

伐倒の デモンストレーション

所要時間：約30分

オプションで枝払いや材の運搬体験もできます(所要時間：1時間)。

ロープを使った伐倒体験は、大きな木を安全に倒すための知恵を学べる体験です。実際の林業では、木を伐るだけでなく、どの方向に倒すかを考え、ロープを使って力を合わせます。子どもたちは仲間と声をかけ合いながらロープを引き、木がゆっくりと倒れる瞬間に大きな達成感と驚きを味わえます。普段は見ることのない森の仕事を体験し、「森を守るために木を伐る」大切さを学べる貴重な時間です。

みんなで息を合わせて引っ張る共同作業と、倒れた瞬間の「ドーン！」という大きな音と地響きが、子どもたちの忘れられない体験となります。



森の暮らし体験

薪割り体験

所要時間：約30分

間伐した丸太を、斧を使って薪にしていきます。斧をそのまま使うのではなく、丸太の上に置いた斧をハンマーで叩き、安全に作業します。

ちょっとドキドキするけれど、とてもワクワクする体験です。重たい薪を割るには、力だけでなく姿勢や道具の使い方が大事。最初はうまくいなくても、友達と協力してパカッと薪が割れた瞬間の達成感は格別です。「できた！」という喜びは、自信にもつながります。また、割った薪は火おこしや料理に使われ、森の木が私たちの暮らしを支えていることを実感できます。森の恵みを全身で感じる、思い出に残る体験です。



森の暮らし体験

焚き火体験

所要時間：約20分

焚き火体験は、自分たちで割った薪を使って、メタルマッチで火をつける体験です。マッチやライターのように簡単にはつかないので、火花がパチッと火口に移った瞬間の喜びは格別！普段は使わない道具に挑戦するドキドキ感もあり、火がだんだん大きくなる様子に子どもたちの目も輝きます。火をおこす大変さを知ること、日常の「当たり前前便利さ」にも気づけます。森の恵みをいただく一歩として、達成感と感動が味わえる体験です。



森の暮らし体験

竹飯作り

所要時間：約1時間

ご飯が炊けるまでにオプションで竹箸作りもできます(所要時間：約30分)。

竹飯づくりは、竹を切って器にし、お米を炊く昔ながらのアウトドア料理体験です。自分たちが作った薪を使って火を起し、竹飯を作ります。

竹の香りがほんのりのご飯にうつり、普段食べるご飯とはひと味ちがうおいしさに出会えます。火をおこして炊き上がるまでの時間も、子どもたちにとってはわくわくする学びの時間。自然の素材を使って料理することで、「森の恵みが食につながること」を体感できます。家族や友達と一緒に食べる竹飯は、きっと忘れられない思い出になります。



木エクラフト：所要時間 各30分程度のもの



鉛筆作り

枝を削り、芯を入れて鉛筆にします。
普段使わないナイフの使い方を学ぶとともに、
刃物の扱い方も学びます。



丸太のコースター

自分たちが切った丸太に絵を描いてコースター
にします。好きなキャラクターや、木目を活か
したイラストなど、個性が光る体験です。



丸太のペンダント

スライスした丸太を用意しています。自分が好
きな丸太を選んで絵を描き、金具と紐をつけて
世界に一つだけのペンダントを作ります。

木エクラフト：所要時間 各1時間～程度のもの



輪切りで動物作り

丸太の輪切りをカットし、組み合わせて、作成します。いくつか動物のパターンがあります。



フクロウ

立体で細かいパーツがあるので、制作に時間がかかります。高学年向けです。



昆虫・動物

細かいパーツが多いですが、こちらはパーツを用意しているので組み立てるだけです。カブトムシ、シカなどが作れます。

防災学習

シェルターづくり

所要時間：約1時間半～2時間

災害時や、山の中で遭難した時、まずしなければいけないことは「体温の保持」です。

森の間伐材や枝、葉っぱを使ってグループで協力しながら組み立てていくと、少しずつ形になり、完成した時には大きな達成感を味わえます。森の素材だけで雨や風をしのぐ工夫をすることで、防災の知恵やチームワークの大切さを学べます。自然の中でつくるシェルターは、まるで秘密基地のよう。楽しく作りながら、森と防災のつながりを実感できる体験です。

防災学習では「命を守る5つの要素」のお話とともに、さまざまな体験を行います。



防災学習

水の濾過装置作り

所要時間：約1時間

水の濾過装置づくりは、炭や砂、小石を使って泥水をきれいにする実験です。ペットボトルで装置を作り、水を流してみると、にごった水が少しずつ澄んでいく様子に子どもたちは夢中になります。実は、森の土や木の根も同じように雨水をろ過して、川や地下水をきれいにしていています。体験を通して「森は大きな水のフィルター」であることを学び、自然の恵みと防災の知恵と一緒に感じられる貴重なプログラムです。



防災学習

火おこし体験

所要時間：約1時間半

防災学習での火おこし体験は、森の中で自分たちの手で枝や落ち葉を集め、火口となるものを工夫して焚き火をつくる体験です。自然の素材だけで火を育てるのは簡単ではありませんが、仲間と協力して小さな火が大きな炎へと育つ瞬間は大きな感動につながります。災害時やアウトドアで「身近なものから火を生み出す」知恵を学び、同時に森の恵みのありがたさを実感できます。楽しく挑戦しながら、防災にもつながる大切な体験です。



その他の体験

星空観察

所要時間：約2時間

星空観察は、大きな天体望遠鏡をのぞいて季節の星座や星の輝きを楽しむ体験です。肉眼ではなかなか見られない夜の星空を、森の静けさの中でじっくり眺める時間は特別な思い出になります。天体望遠鏡を通して月のクレーターや遠くの星を見つけたときの感動は、子どもたちの心に深く残ります。星空の下で友達と過ごすひときは、自然と宇宙のつながりを感じさせてくれる、かけがえのない体験です。



その他の体験

森林散策 & 観察

所要時間：約1時間

森林散策は、森の中をゆったり歩きながら、五感を使って自然を感じる体験です。木の香りをかいだり、鳥の声に耳をすませたり、葉の手ざわりを楽しんだり、森が持つ心地よさを味わえます。フィールドビンゴを取り入れることで、子どもたちも遊び感覚で森の生き物や植物を発見！みんなで一緒に自然に親しみながら、森林浴のリラックス効果も体感できます。楽しく学びながら心と体を元気にしてくれる、やさしい森の時間です。



1日の体験プログラム例A：午前



9:15 林業体験

なぜ木を伐るのか？というお話も交えながらチェーンソーが動いているところを見たり、実際に木を伐るところを見学し、最終的にはみんなでロープを使って木を倒します。



11:45 振り返り

班ごとや全体で、午前中の内容の振り返りをします。森の中に座り、みんなで感想を話し合います。



9:00 集合

活動する地域の森に集合し、開会式、自己紹介などのオリエンテーションを行います。



10:30 枝払い、丸太切り

倒した木を運びやすく細かく切ったり、付いている枝を取り除く作業をします。



12:00 昼食

午後からも森の中で作業する場合は持参したお弁当をみんなで食べます。

1日の体験プログラム例A：午後



14:15 水の濾過器づくり

ペットボトルと森の中の資源を使い、濾過器を作ります。フィルターとなる層を見て森が水をきれいにする仕組みを学びます。



16:00 解散

1日の活動お疲れ様でした。



13:00 森林散策

午後からは森の中をゆったりと歩きます。五感を開く体操をした後、森の中でフィールドビンゴをしながら植物観察などを行います。



15:30 振り返り

午後の活動も含めて、1日の振り返りをします。今日の活動の中で心に残ったことや、楽しかったことなど、自由に発表して終わりです。



1日の体験プログラム例B：午前



9:15 丸太切り体験

当会で用意していた丸太をノコギリで切っていきます。刃物を扱うときの注意点や、体全体でノコギリを使うことを体験します。



11:00 火おこし 竹飯作り

メタルマッチを使って火を起こしていきます。無事に火おこしができたら竹飯を炊いていきます。



9:00 集合

活動する場所へ集合し、開会式、自己紹介などのオリエンテーションを行います。



10:00 薪割り体験

竹飯作りのための薪を作っていきます。斧と木槌を使い、力を合わせて安全に作業します。



12:30 昼食

美味しく炊けた竹飯を、待ち時間に作った竹箸で食べます。上手に炊けたらおかわりもたくさん！

1日の体験プログラム例B：午後



15:30 振り返り

午前中の「森の暮らし体験」から午後のクラフト制作まで1日を通した振り返りをみんなで行います。



19:00 星空観察

天体望遠鏡を使った星空観察で季節の星座などを見つけます。雨天時は屋内でスライド資料を使った星空の講義を行います。



13:30 木エクラフト

お昼ごはんのあとは、クラフト制作で様々なものづくりに挑戦します。間伐で出た資源がどのように生まれ変わるのかを体験できます。



16:00 移動

宿泊施設や、星空観察が行われる場所に移動し、星空観察までの時間に夕食などを済ませます。



サポートスタッフ

多彩な経験・資格を持つスタッフが体験をサポートします！



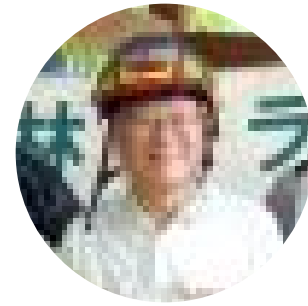
櫻井 充弘

統括・プランニング



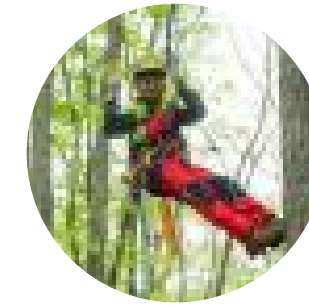
正畑 良樹

林業体験・クラフト体験



中元 明弘

林業体験・森林散策



井本 敏和

林業体験・きのこ観察



櫻井 伸洋

林業体験・暮らし体験



伊藤 之敏

植物観察



永山 洋子

植物観察・クラフト体験



櫻井 潤一

林業体験・植物観察



河原 隆治

森林散策・植物観察



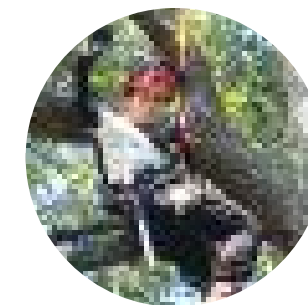
堀内 富夫

林業体験・暮らし体験



岡野 充広

林業体験



小浜 愛香

森林散策・防災学習

事前学習について

活動前の座学開催

野外活動当日をより充実した学びの場とするために、事前学習（座学）の実施も可能です。事前学習では、森林のはたらきや林業の役割、防災との関わりについて、子どもたちがわかりやすく理解できる内容をお伝えします。例えば、なぜ木を伐ることが森を守るにつながるのか、災害から私たちの暮らしを守るためにどんな働きをしているのかといったテーマを、写真やクイズを交えながら楽しく学びます。

事前に学んでおくことで、実際の活動中に「これは授業で聞いたことだ！」と気づきが深まり、体験の理解度が大きく高まります。活動後のふりかえりにもつながり、学びを自分の言葉で表現できるようになります。実施方法は基本的にオンライン（Zoom等）で行いますので、学校や自宅から気軽に参加できます。また、スケジュールが合えば現地での出張授業も可能です。



お気軽にご連絡ください

📧 お問い合わせ・お申し込みはこちら



本プログラムにご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。体験の詳細や実施方法、スケジュール調整など、ご質問やご相談がありましたらお気軽にお問い合わせください。学校・団体のニーズに合わせた柔軟な対応が可能です。子どもたちにとって忘れられない学びの時間となるよう、心をこめてご一緒させていただきます。